

# 明治から令和までの出来事とファッションの関わり

明治 大正 昭和 平成 令和

**明治「洋装化のはまり」**  
 江戸時代から明治時代にかけて、上流階級の富裕層を中心に洋装化が進んだ。日本が欧米並みの文明国であることを示すために建設された鹿鳴館は、洋装化のひとつのきっかけとなった。

**きっかけ**  
 修学旅行で沖繩県に行った際、戦争について触れ、当時の人々の服装に興味を持って、制服からモンペに変化したお話を軍服について当時の話で深く調べてみたいと思った。

**大正艶やかな和服、そしてモダンガール・モダンボーイ登場**  
 明治中期から和服が復活したが、大正後期には新しいファッションスタイルが登場した。大正緑や新緑色、幾何学的なアールデコ模様などを大胆に取り入れた。その後、第一次世界大戦によって好景気となり、日本では、庶民にも和洋折衷ファッションが広がった。大正末期には西洋文化の影響を受けたモダンガール・モダンボーイが大流行した。

**昭和「第二次世界大戦で服装に大きな変化」**  
 戦争が始まると活動しやすいモンペ(女)やカーキ色の国民服(男)が一気に広まった。戦後は一転して若者を中心に、多種多様なファッションスタイルが生まれた。家庭用ミニムの普及により、ファッションとしての洋服が定着していった。また大人たちの服装として、スーツが一般化した。その後日本は好景気となりバブルが始まった。人々の生活は活気を取り戻し、明るく派手なファッションが流行した。

**平成バブル終息「新時代の到来」**  
 経済状況、情報ツール、生活様式、価値観の多岐にわたる変化や多様化により、ファッションも変化し、バブル時代のゴージャスな服や崩壊後の節約志向など、ジュエル、ギャル系、ストリートと社会の動向と共に服装も進化していき、様子が良く分かる。

**令和「ユニセクスのファッション」**  
 ユニセックスとは、男女の区別が無く、両性とも着用可能なファッションのことで、多様性についての関心の高まりと共にユニセクスのファッションが流行していると考えられる。デジタル社会に入り何でもどこでも手にする時代となり、好みや目的に合わせてブランドも選べる多様な世界となった。

**ヒストリー・ブライツ & ショーン**  
 高根大学 教育学部 附属義務教育学校 9年3組 大谷航世 発行日 令和5年8月22日

**編集後記**  
 きっかけは戦争だった。当時の服装から歴史を紐解くと、経済や戦争などの時にファッションに大きな動きが起きているということが分かった。また、好景気になると服が派手になるといふことに驚いた。又、平成生まれの自分自身、平成初期のファッションをほとんど知らず、今回の学びでギャルの事やボタコンなど多様なファッションがあった事を知れて面白かった。令和の新時代に突入、これから日々の出来事と服装を注視したい。

**美容師さんへ聞いたQ&A**  
 Q:昔の髪型はどんなものがありましたか?  
 A:昔は日本髪や黒柳徹子さんのような髪型が流行しました。

**出典**  
 公文書に見る戦時と戦後一統治機構の変転-アジ歴ログ、ナリ- モダンガールからギャルまで日本人の変遷が面白い。TRIPEDITER 和洋折衷のお洒落の基本明治の服装とは?パンタポルタ <http://www.phanlaporta.com/> 永又保在 髪型の歴史150年美のプロなら知っておきたい明治大正昭和のヘアスタイル <http://www.jacar.go.jp/glossary/> <http://tripeditor.com/40537875> <http://www.9navi.jp/special/sense.skills/hairstyle/history>

